

ありがとう かみすげた

令和元年9月30日
横浜市立上菅田小学校
学校だより10月号

上菅田小学校 学校教育目標
心かがやく上菅田の子ども

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| か | 上菅田の「まち」を知り、地域とともに活動しよう | (公) |
| み | みんなも自分も大切に、社会に貢献しよう | (徳) |
| す | すてきな日本を学び、世界で活躍できる人になろう | (開) |
| げ | 元気な心と健康な体を作ろう | (体) |
| た | 楽しく学び、のびのびと表現しよう | (知) |



みんなで
東京2020
オリンピック・
パラリンピックを
応援しよう。



ONE TEAM

自分は、チームになくてはならない存在！ 校長 縣 利一

第9回ラグビーワールドカップ日本大会が9月20日に開幕しました。11月2日の決勝戦まで熱い戦いが繰り広げられます。日本は開幕戦において30対10でロシアに快勝しました。また4トライを挙げボーナス点も獲得することができました。さらに、今大会初のハットトリックを松島幸太朗選手が達成しました。ワールドカップでは53人目となり、日本代表チームでは第一号の快挙です。



ジョセフヘッドコーチが記者会見で紹介した色紙

そして28日は日本の二試合目、対アイルランド戦が行われました。ロシア戦と同じく、序盤はリードされていましたが、田村選手のペナルティキックでその差をじりじりと詰めていき、9対12の3点ビハインドで前半を終えました。後半に入り18分に途中出場の福岡選手がトライで逆転し、田村選手のコンバージョンキックも決まり、16対12となりました。日本の攻撃はやむことなく、ボール支配率は60%にまでなりました。そして31分、またもや田村選手のペナルティキックが決まり19対12となりました。後半に入ってから、アイルランドに得点を許していません。ノーサイドのホイッスル後、日本の勝利について「もうこれは、奇跡とは言わせない！」とのアナウンサーの叫びは、日本国中の思いを代弁しているようです。

さかのぼることひと月前の8月29日。ジョセフヘッドコーチは、31人の最終登録メンバー発表の際に、チームスローガンを発表しました。「ONE TEAM~FOR JAPAN, ALL ATTITUDE~」です。このスローガンは、代表候補合宿に参加した60人余りの選手達が31人に絞られ、代表落ちした選手達も含めて全員が一つのチームとして戦うという思いが込められているそうです。選手達が主体的に戦術、作戦を話し合う中で生まれてきました。キャプテンのリーチ・マイケル選手は「同じ目標に向かって、ひとりひとりが努力するのが『ワンチーム』です。」と言っています。

ところで、ラグビーでは「One for all, All for one」という言葉がラグビー用語として使われています。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という意味で、チームワークの精神を表現する言葉として使われています。ところが、元ラグビー全日本監督の平尾誠二氏は、「All for one」の「one」は、「一人」ではなく「勝利」を意味すると言っています。つまり「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」と解釈するのが正しいのだそうです。なぜなら、チーム全員が勝利という目標を共有して、一人ひとりがチームのために自分の役割や責任を果たさなければ、勝てないからです。何のため(=勝利のため)という明確な目標が重要です。さらに言うならば、一人ひとりの役割は戦術や作戦の中でいく通りもあり、さらに相手がいるわけだから想定外の事態がいつでも起こりうるわけです。だからこそ仲間をフォローし助けていくことが求められるのです。

今回のチームスローガン「ONE TEAM」の「ONE」を「勝利」とするならば、「勝利のチーム」ということになります。ジョセフヘッドコーチは、試合直前「誰も勝つと思ってない。誰も接戦になるとも思ってない。誰も僕らが犠牲にしてきたものは分からない。信じているのは僕たちだけ。」という俳句を選手たちに読んだそうです。勝つために限界まで鍛えぬいたフィジカルやスキルによって、勝利を確信できたとき「ONE TEAM」と言い切れるのです。勝利を決する最後の要諦は、チームのために働いた自分をそして自分たちを信じる強いメンタルであるということなのではないでしょうか。「自分はチームになくてはならない存在と確信すること。」これは自己有用感といってもいいのではないかと思います。自分の存在を認められ、自分は誰かの役に立っている存在だと確信できること。今の教育に求められていることを、トップアスリートたちから教えられた気がします。

2年生 新江ノ島水族館遠足



7月5日(金)に新江ノ島水族館へ遠足に行ってきました。国語で「スイミー」を学習中の子どもたちは、海の生き物を見るのをとても楽しみにしていました。当日は、水族館の中をグループで見学し、たくさんの海の生き物に目を輝かせ、一生懸命気付いたことをメモしていました。タッチプールでは、実際にネコザメに触れるという貴重な体験をしました。アシカやクジラ、イルカのショーは、みんな一緒に手拍子やポーズで合図をすると、見事なジャンプや泳ぎを披露してくれて、会場みんなで拍手喝采。笑顔いっぱいの遠足は、すてきな思い出になりました。



大きい魚や小さい魚がいっぱいいる！

ネコザメ触ったら、ざらざらしてた〜♪



くらげさんとピース！！



イルカのダイナミックなジャンプにびっくり！！

みんなといっしょのお弁当は、すごくおいしいね♪



実行委員さんは、いってきますの会、バスレクリエーション、ただいまの会を担当しました。準備から最後までがんばり、バスの中も楽しく過ごすことができました。

